

平成 26 年度公益社団法人日本水産学会定時社員総会議事録

平成 26 年 3 月 29 日（土）13 時 00 分より、北海道函館市港町 3-1-1、国立大学法人北海道大学函館キャンパス講義棟大講義室において定時社員総会を開催した。

議決権のある当法人社員総数	2,971 名
総社員の議決権の数	2,971 個
出席社員数（委任状による者を含む。）	1,649 名
この議決権の総数	1,649 個
出席代表理事	渡部終五
出席理事	大越和加、河原栄二郎、金子豊二、古谷 研、黒倉 壽、嵯峨直恆、桜井泰憲、佐藤秀一、佐藤 實、佐竹幹雄、東海 正、松山倫也、鷲尾圭司、和田時夫、渡邊良朗
出席監事	瀬川 進

以上のとおり出席があったので、定款の規定により、議長として、飯田浩二氏が推薦され、承認された。飯田浩二氏は、議長席につき、本総会は適法に成立したので開会する旨を宣した。渡部終五会長、嵯峨直恆平成 26 年度春季大会委員長の挨拶の後、議事に入った。

第 1 号議案 平成 25 年度事業報告ならびに貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録承認の件

議長は、平成 25 年度（自平成 25 年 3 月 1 日至平成 26 年 2 月 28 日）における事業状況の説明を総務担当理事に求め、東海 正は事業報告により詳細に説明報告した。

続いて議長は、平成 25 年度における貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録についての説明を財務担当理事に求め、金子豊二が付属書類により詳細に説明し、その承認を求めたところ、出席者の過半数の賛成によりこれを承認可決した。

第 2 号議案 平成 26・27 年度役員（理事及び監事）選任の件

議長は、定款第 24 条の規定により本総会終結時をもって理事及び監事の全員が任期満了となるため、総務担当理事に理事及び監事選任についての説明を求め、東海 正は定款、役員候補者選出規程並びに総会における役員の選出手続きに関する申し合わせにもとづいて詳細に説明した。この後、理事及び監事の選任手続きに入り、1 名ずつ理事及び監事選任の審議が行われ、出席者の過半数の賛成により、下記のとおり可決確定した。

役員候補者選出規程第2条第1項に係る理事候補者のうち、
渡部終五、東海 正、山下 洋、荒井克俊、渡邊良朗、古谷 研、
金子豊二、青海忠久、木島明博、松山倫也が選任された。
萩原篤志は上記10名の補欠の理事として選任された。

役員候補者選出規程第2条第2項に係る理事候補者のうち、
北海道支部担当 嵯峨直恆が選任された。荒井克俊は補欠の理
事として選任された。
東北支部担当 吾妻行雄が選任された。尾定 誠は補欠の理
事として選任された。
関東支部担当 時村宗春が選任された。良永知義は補欠の理
事として選任された。
中部支部担当 飯田貴次が選任された。青海忠久は補欠の理
事として選任された。
近畿支部担当 荒井修亮が選任された。川合真一郎は補欠の
理事として選任された。
中国・四国支部担当 関 伸吾が選任された。南 卓志は補
欠の理理事として選任された。
九州支部担当 香川浩彦が選任された。松山倫也は補欠の理
事として選任された。

役員候補者選出規程第2条第1項に係る監事候補者のうち、
青木一郎、瀬川 進が選任された。北田修一は補欠の監事とし
て選任された。

役員選出規程第2条第6項に係る監事候補者のうち、
所 英樹が選任された。

第3号議案 名誉会員推薦の件

議長は、総務担当理事に名誉会員推薦についての説明を求め、東
海 正は定款、名誉会員推薦規程にもとづいて詳細に説明した。
審議の結果、理事会から推薦のあった藤井建夫を名誉会員とす
ることが可決された。

報告事項 別添資料に基づき、次のとおり報告があった。

- (1) 総務担当理事東海 正が平成26年度事業計画について報告した。
- (2) 財務担当理事金子豊二が平成26年度正味財産増減予算書及び正味財産増減予算書内訳表について報告した。

議長は、議事録作成者として出席理事の中から東海 正を指名した後、以上

をもって本日の議事を終了した旨を述べ、14時14分閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び議事録作成者がこれに記名押印する。

平成26年3月29日

平成26年度公益社団法人日本水産学会定時社員総会

議 長 印

議事録作成者
理 事 印

代表理事（会長） 印